

# リニア駅周辺整備 ワークショップだより

平成 31 年 1 月発行

vol.5

## ●第5回リニア駅周辺整備ワークショップを開催しました！

12月20日に第5回目となる「リニア駅周辺整備ワークショップ」を開催しました。当日は初参加の方を含む、総勢27名にご参加いただきました。

今回は、第4回ワークショップを踏まえてブラッシュアップした計画案や、これまでの検討成果をまとめたデザインノート（下段をご覧ください）について、意見交換を行いました。

### 開催実績

- ◆日時：平成30年12月20日（木）  
18:30～21:00
- ◆会場：飯田市役所
- ◆参加者数：27名（初参加5名）



■模型を見ながら説明を聞く様子

## ●デザインノートとは？

長期間かつ多くの関係者が関わるプロジェクトを適切に進めていくためには、計画・設計・工事に至るそれぞれの段階で、立ち戻ることできる“計画の柱”をまとめておくことが重要です。

そこで、**リニア駅前の考え方**や**目指す空間像**を地域の人々や多くの関係者・関係機関と共有するための資料として『飯田・リニア駅前空間デザインノート』の作成を進めています。

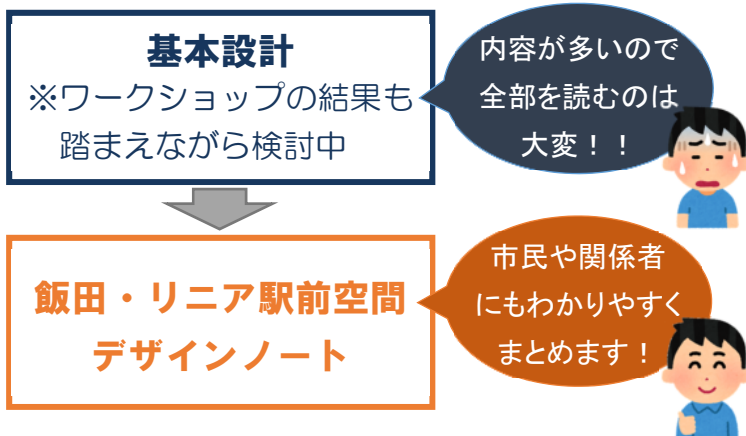
このデザインノートは、市民向けのパンフレットになるとともに、関係機関や将来の設計者・工業者などへの説明資料・意思伝達資料としての役割を担います。

また、現在検討を進めている基本設計の概要版にもなります。そのため、コンパクトでありながらも、計画の考え方をきちんと伝えられる資料とします。



模型写真やイメージ図、できるだけ簡単な言葉を用いるなど、ビジュアルやわかりやすさに配慮します。

■デザインノートの素案（ワークショップ提示資料）



## ●ワークショップで出された主な意見

今回のワークショップでは、デザインノート（表面をご覧ください）の素案を見ながら、これまでのワークショップでの議論の成果が反映されているかを確認しました。

いただいたご意見は今後の検討の参考とするとともに、デザインノートをワークショップ成果としてまとめていくことについて賛同をいただきました。

### みなさまからのご意見（抜粋）

- ・大屋根を必ず実現してほしい
- ・駅自体が観光名所となるようにしたい
- ・照明による夜間の演出も考える必要があるのではないか
- ・広場の中に腰を下ろしてゆっくりできるベンチなどがあるとよい
- ・モニュメントなどの芸術的な要素があるとよい
- ・乗換新駅へのアクセスを考える必要があるのではないか
- ・防犯対策も考える必要があるのではないか
- ・地元の高校や大工などと連携が図られるとよい
- ・イベント開催時の駐車場の運用を考えなければならない

## ●リニアが開業する将来に向けたメッセージ

ワークショップの最後に、リニア駅や地域の将来への想いを、りんごをかたどったカードにメッセージとして綴っていただきました。このカードを模造紙に貼り、りんごの木をつくり上げました。

「100年後に誇れる世界一の駅に」や「過ごしてもらえる街に」、「飯田

を世界に発信」といった趣旨のメッセージのほか、自らが「イベントに取り組みたい」といったメッセージがあるなど、一人ひとりの想いがこめられたりんごの木となりました。

今後、このりんごの木を市役所内に掲示しますので、来庁された際にご覧ください。



■メッセージの実が実ったりんごの木

### 今後ともご協力をお願いいたします。

昨年2月から5回にわたってワークショップを開催してきましたが、今回が一旦最終回となります。

この間、延べ150名以上の方にご参加いただき、さまざまなアイデアやご意見をいただき、リニア駅周辺整備の計画案をまとめることができました。ご参加いただいたみなさまに感謝いたします。

2027年のリニア開業に向けて、今後も市民や事業者など、多くのみなさまとの連携を図りながらリニア駅周辺整備を進めていきますので、ご協力をお願いいたします。



■今回ご参加いただいたみなさま

問い合わせ先 飯田市役所 リニア推進部 リニア整備課

☎ : 0265 (22) 4511 内線 3334

✉ : linear-seibi@city.iida.nagano.jp

FAX : 0265 (22) 5371